

DTM, アレンジ & ミキシング講座

～中級編～



「販売できるクオリティの音源を作る」

その為には、作曲、アレンジ、ミキシングの全てが関わり、さらにそれを行う為に使うDTMの知識が必要とされます。

「膨大の知識が必要そう・・・」
いいえ、そんなことはありません！！
小麦粉から美味しい料理を作るのは大変です。
しかし、
寒い冬、サツマイモは焼いただけで美味しいです！
暑い夏に売れるかき氷。あれは水です！

音源制作も同じです。
正しい知識があれば、販売できるクオリティの音源は作れます。
最初はサツマイモの買い方、焼き方、盛り付け方をお伝えします。
そして音楽を楽しみ研究したその先に、
サツマイモも小麦粉も使った高級フレンチが、
あなたの手から生まれることでしょう。

1.スケジュールと内容

2022. 8/5

3つの作品を作ります。

- 1、3秒ほどのサウンドロゴ
- 2、10秒ほどのジングル
- 3、1分ほどのBGM

作曲の流れを繰り返し
慣れていきます。

作業全体を把握し

得意不得意を知ること

- ・得意を伸ばし
- ・不得意を減らし
- 更なるレベルアップへ！

2weeks

作品創作期間

講師への相談が可能です。
この期間で作曲の力を
どんどん成長させましょう！

2022. 8/19

2週間練り上げた楽曲を
添削しブラッシュアップ
していきます。

3分以上の販売できる
クオリティの楽曲を
完成させましょう！

POINT!!

自力で作れる楽曲が、
焼き芋でも高級フレンチが知り、
その中でプロのクオリティを
求めることが大切です。

焼き芋でもいいんです。
あなたの焼き芋で笑顔になる
誰かがいます。

2.参加条件について

以下の知識があると望ましいですが、2つ、3つ自信がない程度なら、覚えて頂ければ参加可能です。
講義の途中で分からなくて困った場合は、遠慮なくご質問下さい。

音楽関連

- ・簡単な楽譜が読める
- ・何か楽器を少しでも演奏できる

生楽器の演奏は良質な音源を作る際に、とても役に立ちます。
演奏できる方は、是非録音をして生かしてみましょう。

DTM関連

- ・トラックや音源を立ち上げられる
- ・音源の音色を変更できる
- ・打ち込みができる
- ・DTMのミキサー画面を開ける
- ・エフェクトを挿入できる
- ・音源を書き出せる

これらがなんとなくどんな操作か想像できればOKです。
講師はこれまでCubase, Protools, Logic, Garage Band,
Studio One, Ableton Liveの使用経験がありますが、
知識はまちまちです。
DTMの操作についてのご質問に、
すぐにお答えできないこともあると思いますが、
一緒に考えて、答えを導けたらと思います。

パソコン関連

- ・Explore(Winows)や Finder(Mac)を使って
ファイルの保存や読み込みができる
- ・Dropbox や Google drive でファイルを共有できる
- ・講座の内容を自宅に持ち帰って
自宅で作業できるパソコン環境がある

講座内でも、楽曲を販売していく上でも、
パソコンの知識はある程度必要になりますので、
わからない場合は、積極的にメモを取るなどして、
慣れていただけたらと思います。

3.音源制作の流れを凝縮！！ サウンドロゴを作ろう！！

短時間で完成できるサウンドロゴの制作で
流れを把握し、整理していきましょう！

※参考動画

企業サウンドロゴ集
100連発



3-1. 一発の音で作る

「作曲依頼が来ました。企業のCMのサウンドロゴ制作のお仕事です。
3秒以内のとてもシンプルなサウンドロゴで、企業名のアナウンスに被せて鳴らす様です。」
こんな想定で一発だけのシンプルなサウンドロゴを一緒に作って行きましょう。

1.トラックを作る

トラック、インストゥルメント（ソフトウェア音源、ソフトシンセ）を1つ立ち上げましょう。
トラックとソフト音源が1つにまとまっている場合と、個別に設定する場合があります。
トラックとは、演奏者1人とイメージしましょう。

2.音色を決める

立ち上げたインストゥルメントを開いて、
収録されている音色を次々と聞いて行きましょう。
ピンとくるものがあれば、それに決めて打ち込みに移ります。
音色から何かイメージできるととても良いです。

（高級感/素朴感/楽しさ/悲しさ/優しさ/激しさ/幼さ/季節感/自然/都会/和風/外国風、などなど）

POINT!!

いいと思う音源の
音は、大体どれも
いいです！お気に入りの
シンセを探すのは
クオリティUPの近道！

3.打ち込む

打ち込みの画面を開き、今回は一発だけの音を作って行きます。
MIDIキーボードが使えるれば、単音や和音で一発だけの音を弾いてみましょう。
音の高さ、音の長さ、和音の均整さ、色々試して説得力のある音がみつければ、
それを打ち込んで行きます。
MIDIキーボードがなくても、画面の鍵盤をクリックしたり、打ち込んだものを再生しながら
調整して行き、好みの音を作って行きます。

4.音量を整える

打ち込んだものを十分な音量まで上げます。
ミキサーの画面を開きマスタートラックの音量インジケータやクリップを見ながら、
再生してみましょう。何dBくらいまでありましたか？
最大値が-6~0dBくらいになる様、トラックのボリュームの調整と再生確認を繰り返します。
※マスタートラックのボリュームは0dBのまま動かしません。
※実際の現場ではラウドネスやdBが指定される場合もあります。

5.書き出す

音量が設定できたら、ついに書き出しです。以下の項目を設定しましょう。

- ・書き出し範囲 作品の頭より0.5秒ほど前から、音が完全に鳴り止んで1,2秒程度後までを設定します。
- ・書き出す形式 依頼に沿いますが、今回は仮にWAVEファイル/16bit/44.1kHzにしましょう。
- ・書き出し場所 ひとまずわかりやすくデスクトップにしましょう。
- ・ファイル名 全て半角アルファベットで「logo1-名前」にしましょう。

設定ができたら、いざ、書き出しましょう！



完成!!

作曲、アレンジ、ミックス、マスタリング全ての工程ができました！
続いて、徐々に長い楽曲を制作して行きます。